

## 山陽小野田市地域公共交通計画の具体化について

山陽小野田市地域公共交通計画では、関連事業や評価指標について、地域公共交通会議の進行管理のもと具体化していくこととしている。

今後、各関連事業は事務局において関係者と協議・調整を行い、随時、地域公共交通会議に状況を報告する。

### 【当面の主な課題と方向性】

#### 1 コミュニティバス「ねたろう号」、「いとね号」厚狭高校通学便の導入

資料1のとおり

#### 2 高畑循環線の見直し

高泊地区路線の廃止を踏まえ、運行ルートについて改めて総点検を行うとともに、共通運賃（200円）の導入や江汐公園入口のバス停位置の変更等について、検討を行う。

#### 3 厚狭北部便の見直し

現状の小学生主体の利用実態や、「ねたろう号」、「いとね号」路線変更（厚狭高校通学便）の影響等を踏まえ、そのあり方について検討する。

#### 4 デマンド型交通（厚狭北部地域、高泊地区）の見直し

現状の利用実態や利用者数、現在実施している利用者向けアンケート調査の結果等を踏まえ、自治会とも連携しながら見直しの方向性を検討する（運行エリア、ダイヤ、便数、乗降地点等）。

#### 5 JR小野田駅前バス乗り場の改善

今後、関係事業者によるワーキング会議を開催し、バス停再配置の実現可能性、見直しの方向性について協議する。

#### 6 バスロケーションシステムサイネージの整備

資料8のとおり。

その他の計画関連事業についても、具体的な対応の方向性が定まり次第、順次、地域公共交通会議に報告する。